

普及課だより

No. 42

2017.1

〒440-0833 愛知県豊橋市飯村町高山11-40

TEL : (0532)63-3529 FAX : (0532)63-7023

HP : <http://www.pref.aichi.jp/>

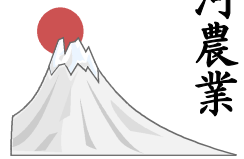
nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/

東三河農林水産事務所農業改良普及課
(東三河農業普及指導センター)

新たな時代を切り開く東三河農業



課長 博雄
光部



新年明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎のこととお喜びを申し上げます。日頃は普及事業にご理解とご協力を賜り、職員一同厚くお礼申し上げます。

昨年の出来事としては、国内では青森県、新潟県、名古屋市の東山動物園等で鳥インフルエンザが相次いで発生しました。家さん農家が多い、管内での発生予防に向け関係機関一体となって対策強化を進めています。国外では、米大統領選挙で多くのマスコミの予想を覆し、トランプ氏が勝利しました。トランプ氏は、我国農業に大きな影響を及ぼすTPPからの撤退を1月の大統領就任直後に表明すると明言しています。また、トランプ氏が選挙に勝つてから急激な円安が進行しています。更にオペックの原油減産合意に伴う原油価格の動向も施設園芸農家が多い管内では注視すべき事案となっております。

このような中ではありますが、当管内では、「全国果樹技術・経営コンクール」において、JA豊橋ぶどう部会の山本保一さん・千代さんが、「花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール」では豊川市の曾田義則さんがそれぞれ愛知県代表となる等喜ばしい出来事がありました。管内の農業が元気になるきっかけになればと思います。

私ども農業改良普及課職員31名は、「東三河の農業」が発展するために、産地・農業者に密着し、栽培技術指導や経営支援等の地域に根ざした普及活動を重視してまいります。その活動の指針となる、普及指導基本計画、「新たな時代を切り開く東三河農業」を基に普及活動を展開してまいります。

重点事項として、①意欲ある担い手の確保・育成、②産地の収益力向上に向けた取り組みの支援、③環境と安全に配慮した農業の推進、④活力ある地域づくりに向けた取り組みの支援を掲げ、対象地域や作物ごとの12の重点課題を設定しています。これらの課題解決に向けて、関係機関・団体、試験研究機関、農林水産事務所各課と連携を取りながら進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

農業経営士等の認定者紹介

※敬称略

農業経営士

【豊橋市】
菱川 剛志
(露地野菜)



竹本 伸二
(花き)



田中 紀充
(露地野菜)



【豊川市】
林 哲史
(養鶏)



松野 基
(施設野菜)



【蒲郡市】
大場 雅道
(果樹)



市川 友之
(施設野菜)



農村生活 アドバイザー

【豊橋市】
松井 孝子
(花き)



伊藤 良子
(露地野菜)



【豊川市】
酒井 浩美
(露地野菜)



【蒲郡市】
足立 和子
(施設野菜)



青年農業士

【豊橋市】
山本 英忠
(養豚)



山本 真太郎
(露地野菜)



【豊川市】
山本 篤
(施設野菜)



【蒲郡市】
孕石 和久
(施設野菜)

倉橋 卓也
(果樹)

管内農業の話題

養豚青年研究会が、豊橋市内の消費者と交流会を開催！

宝飯豊橋養豚青年研究会は、農業改良普及課と養豚農家4名の発起人により、若手養豚農家の育成の場として平成7年に設立された組織です。

平成28年11月26日、東三河農業改良普及課において豊橋市内の消費者と交流会を開催しました。この交流会は、養豚の生産現場を消費者に理解してもらうこと、消費者の声を豚肉生産の参考とすることを目的としており、今年で15回目となります。

当日は、本会会長、愛知経済農業協同組合連合会、豊橋市食肉衛生検査所により豚肉の生産から販売までの紹介、食肉加工アドバイザーによるソーセージ作り体験、会員の豚肉を試食(とんてき)、豚肉生産や交流会の内容等について意見交換を行いました。大人26名、子ども22名の参加があり、参加者から、こだわった豚肉生産や厳しい衛生検査を受けていることが認識できた、楽しくソーセージ作りができたなどの意見が聞かれ、有意義な交流会となりました。



会長による勉強会



ソーセージ作り体験

蒲郡4Hクラブが、保育園でクリスマス会に参加！

12月16日に蒲郡市立東部保育園で、蒲郡4Hクラブ員12名がクリスマス会に参加しました。

クラブ員がサンタクロースとトナカイの格好をして登場すると、57名の園児は歓声をあげ、なぞトナカイが2本足で立っているのかなどの質問をしました。サンタ役クラブ員は20分で切れる魔法をかけたと言明し、会場を笑顔にしました。そしてクラブ員の栽培したミカンやクリスマスプレゼントとして受け取った園児は、甘くておいしいと喜び、2つ目のミカンに手を伸ばしていました。



ミカンプレゼントの様子

4Hクラブ員募集！

4Hクラブは、20代の青年農業者のグループです。豊橋市、豊川市、蒲郡市の市ごとに4Hクラブがあります。

4Hクラブでは、歓送迎会、地域のお祭り等で交流と親睦をはかり、農業の生産技術や経営を学び、農業の課題を解決するプロジェクト活動を行っています。



お問い合せは、お近くの4Hクラブ員、または農業改良普及課まで！

新しい技術の紹介

稲WCS専用品種「たちすずか」 穂揃期収穫を実施！

稲WCS専用品種「たちすずか」の収穫期前進化に伴う品質評価について、豊橋稲WCS組合員の水稻農家1戸、酪農家1戸の協力のもと試験を実施しました(栽培規模25a)。通常、稲WCSの収穫は9月下旬以降の黄熟期に行いますが、本試験では、収穫適期を広げる目的で収穫期を前進化させ、穂揃期に収穫、収量調査を実施しました。比較として、黄熟期にも、同様の調査を実施しました。

調査結果は、穂揃期は9月1日の収穫で収量は、2.650kg/10a、含水率53.4%、一方、黄熟期は10月12日の収穫で、収量は2.860kg/10a、含水率48.1%でした。黄熟期収穫と比較して、新技術である穂揃期収穫により、収量は210kg減少しますが、含水率は目標値の65%により近い数値となり、品質の良い稲WCSが期待できます。今後、成分分析、発酵品質、乳牛の嗜好性を調査して、新技術(穂揃期収穫)を総合的に品質評価をしていく予定です。



「たちすずか」の穂揃期収穫の様子